

文理連携による東北アジアの新しい地域理解と課題の共有

令和5年度における活動実績・成果の概要

- ・タイトル：隣国ロシアを理解するための東北大学講座
- ・2023年度後半において高校生を対象とした、隣国ロシア理解のための連続講座を実施した。6回にわたり歴史・文化・メディアについて講義を行い、毎回12校ほどの高校が受講し70人ほどが受講した。高校生からの質疑応答も活発に行われ、オンラインによる高校生中心対象の公開講演会がアウトリーチとしては社会および教員側双方に肯定的な効果があった。

・実施概要

- (1) 実施期間 2023/10から2024/2
- (2) 講座内容及び講師
 - 人類史からみえるロシア 担当 高倉浩樹（東北大学教授）（23/10/16）
 - 歴史からみえるロシア 担当 寺山恭輔（東北大学教授）（23/11/6）
 - 絵本からみえるロシア 担当 藤原潤子（神戸市立外国語大学准教授、元センター講師）（23/11/28）
 - 宗教からみえるロシア 担当 磯貝真澄（千葉大学教授、元センター助教）（23/12/14）
 - メディアからみえるロシア 担当 巽由樹子（東京外国語大学准教授、元センター研究員）（24/1/17）
 - アニメからみえるロシア 担当 パホモフオレグ（東北大学助教）（24/2/1）

- ・成果：受講生の高校生多数からこの講義を機にロシア理解が変わったと回答があり、進路にも影響と回答があった。ロシアによるウクライナ侵略戦争を受けて、現在の軍事評論中心のロシア報道から、歴史・社会・文化をベースにした隣国としてのロシア理解に効果があったと判断した。



Center for Northeast Asian Studies Tohoku University <http://www.cneas.tohoku.ac.jp/koukou>

高校生のためのオンライン授業

隣国ロシアを理解するための東北大学講座

2022年のロシアのウクライナ軍事侵襲は断じて許されるものではありませんが、これを正しく批判するためにも隣国としてのロシアの理解を深めることこそが、いま求められています。
本授業では、多民族国家としてのロシア、東アジアとの関係などの観点から講義をおこない、正しい隣国理解を行うことを目的としています。

お申し込みはこちらから
<https://forms.gle/uG9ck3XoUNLXbRjE9>








● 授業について

- 開講時間 / 各日 16時30分～17時15分
- 方法 / Zoom (予定)
- *このオンライン連続講座は、高校単位で申し込みを受け付け、高校生個人が申し込みすることはできません。高校を代表して担当の先生が応募し、学校の教室を確保し、オンライン配信の設備を準備してください。
- *講義は10月16日に開始し、2月1日まで برگزار されますが、学校の都合により一部の授業では休講する場合があります。
- *受講申し込みは、上記URLにて、2023年8月7日から9月25日まで受付、事務局より10月初旬にオンラインURLを送ります。

人類史	歴史
からみえるロシア 高倉 浩樹 東北大学教授 シベリア先住民をめぐり、人類史と隣国史の関係を軸に、近頃を振り返ります。	からみえるロシア 寺山 恭輔 東北大学教授 江戸時代の日清開港場の歴史を軸に、大森を振り返ります。
10.16 (月)	11.6 (月)

絵本	宗教	メディア	アニメ
からみえるロシア 藤原 潤子 神戸市立外国語大学准教授 ロシア絵本の歴史を軸に、児童のロシア理解の歴史を振り返ります。	からみえるロシア 磯貝 真澄 千葉大学教授 ロシアの正統派を軸に、東正教の歴史を振り返ります。	からみえるロシア 巽 由樹子 東京外国語大学准教授 ロシアメディアの歴史を軸に、ロシアの歴史を振り返ります。	からみえるロシア パホモフ オレグ 東北大学助教 ソ連アニメに登場した「子ども時代」のイメージを軸に、ロシアの歴史を振り返ります。
11.28 (火)	12.14 (木)	1.17 (木)	2.1 (木)

主催：東北大学東北アジア研究センター



文理連携による東北アジアの新しい地域理解と課題の共有

令和5年度における活動実績・成果の概要

・**まとめ** 高校生を対象にして目的である隣国としてのロシアを理解を深めることは十分できたと考える。またオンライン講義で高校生に発信する効果を十分に教員が感じることができた。講義時間は60分ぐらいのほうがよい。また高校生に限定せず大学生なども含めると良いかもしれない。公開講演会のあり方として、高校生を対象にしたオンライン講座は今後可能性があると考えた。

・効果

(1) 申し込み校 23校（東京都5校、宮城県3校、秋田県2校、北海道2校、シンガポール、京都府、群馬県、山口県、新潟県、千葉県、大阪府、富山県、兵庫県）で全国から幅広く、応募があった。シンガポールからは日本人学校である。宮城県からの参加が少なかった。

(2) 毎回10-14校程度が参加、生徒数は2人から10人程度が参加、平均で12校として一高平均で7人として6回とすると=合計420人程度が受講（講座への参加校 1回目：14校、2回目：不明、3回目：12校、4回目：11校、5回目：11校、6回目：10校）

(3) 受講者（担当教員）からのアンケート抜粋：内容については高評価で、質疑応答で他校生徒の発言から刺激を受けた。また同じ発想で他の国の講義もあるとよいとの要望。総合選抜での受験を考える生徒にとって大学の学びが何かを具体的に知ることができた。

(4) 受講者（生徒）からのアンケート抜粋：・普段知られない映像や資料を見れたことや他校の生徒の考えを知ることができた。ここでしか知られないことがあった。内容的には絵本やアニメが特に人気

・**成果**：受講生の高校生多数からこの講義を機にロシア理解が変わったと回答があり、進路にも影響と回答があった。ロシアによるウクライナ侵略戦争を受けて、現在の軍事評論中心のロシア報道から、歴史・社会・文化をベースにした隣国としてのロシア理解に効果があったと判断した。